



国宝
阿弥陀聖衆来迎図

絵で学ぶほとけの教え

監修・解説

中野 玄三

同朋舎新社

目次

6	《阿弥陀聖衆来迎図》に描かれた仏たち
8	来迎図——欣求浄土を願う仏画——
11	作品データ
12	コラム① 来迎図とはどんなもの？
14	コラム② 如来と菩薩はどちらがう？
19	印相ってなに？
20	【総合解説】戦火を逃れた一天無双の霊宝
25	三曲一隻の屏風って？
26	【部分図解説】山越三尊

32	コラム③ 来迎には九つのランクがある？
35	恵心僧都源信について
36	【部分図解説】中央幅の諸尊
41	仏画をゴージャスに見せる技法
42	【部分図解説】山水図
46	山水図に描かれた心の原風景
47	【部分図解説】持幡菩薩と奏楽菩薩
51	コラム④ 来迎図から聴こえる音色
54	おわりに

わたくし、小僧と
相棒の小芝が
ご案内いたします！



《阿弥陀聖衆来迎図》に描かれた仏たち



- 1 幡を持つ菩薩
- 2 箏を奏する菩薩
- 3 琵琶を奏する菩薩
- 4 箏篋¹を奏する菩薩
- 5 羯鼓を奏する菩薩
- 6 (持物不明)
- 7 蓮華を盛った華籠を持つ菩薩
- 8 未敷蓮華を持つ菩薩
- 9 開敷蓮華を持つ菩薩
- 10 阿弥陀仏(化仏)
- 11 観音菩薩(化仏)
- 12 勢至菩薩(化仏)
- 13 地藏菩薩
- 14 龍樹菩薩
- 15 僧形菩薩
- 16 蓮華を盛った華籠を持つ菩薩
- 17 蓮華を盛った荷葉²を持つ菩薩
- 18 鼉太鼓を奏する菩薩
- 19 羯鼓を奏する菩薩
- 20 鉦鼓を奏する菩薩
- 21 簫³を奏する菩薩
- 22 (持物不明)
- 23 横笛を奏する菩薩
- 24 笙を奏する菩薩
- 25 銅鈸子⁴を奏する菩薩
- 26 篳篥⁵を奏する菩薩
- 27 幡を持つ菩薩
- 28 方磬⁶を奏する菩薩
- 29 腰鼓を奏する菩薩
- 30 拍板⁷を奏する菩薩
- 31 山越阿弥陀三尊
- 32
- 33

- 1 箏篋 弦楽器の一種。ハープ。
蓮の葉。
- 2 荷葉
- 3 簫 管楽器の一種。ハーモニカ。
- 4 銅鈸子 打楽器の一種。シンバル。
- 5 篳篥 管楽器の一種。縦笛。
- 6 方磬 打楽器の一種。
- 7 拍板 打楽器の一種。

いん そう
印 相 っ て な に ?



主な印相



来迎印の解説は 34ページを ご覧ください



来迎図に描かれる 阿彌陀如来は 九品印とよばれる 印相を結びます

描かれているその他の菩薩
《阿彌陀聖衆来迎図》では観音、勢至の他にもよく名前を聞く菩薩が描かれています。

地藏菩薩
釈迦の入滅後から五十六億七千万年後に釈迦の後継者である弥勒菩薩が出現するまでの「無仏」と呼ばれる期間、迷いあるものが輪廻し続けるという六つの世界「六道」(地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道)を輪廻する衆生を救う

菩薩です。坊主頭で左手に宝珠、右手に錫杖を持っています。

龍樹菩薩
龍樹は実在の人物で紀元二世紀頃のインドの僧です。龍樹は『中論』で全ての存在に実体はなく、物事は全て移り変わるという「空」の思想を完成させました。この「空」の考え方をあらわしたものが『般若心経』です。

僧形菩薩
特定の菩薩の名前ではなく、菩薩が僧侶の姿としてあらわさ



れる場合の呼び方です。地藏菩薩、僧形文殊菩薩、僧形八幡神などがよく知られています。